

## 合法性維持のための実体法制度

違法行為が行われたらどうなるか

### 責任

定義 教科書 p. 325

責任の主体

国家・国際機構・私人

責任制度の存在理由

合法性の維持

注意! 損害の回復そのものが目的ではない

概略

「国家が違法行為をすれば、責任を負う」

要件

- ・「国家が」 国家の行為でなければならない 行為の帰属
- ・「違法行為」 違法行為でなければならない 行為の違法性

「過失」は? 教科書 p. 345-

帰属

国家機関の行為 当然国家の行為

国家機関かどうかは国際法が決める

国家機関の行為かどうかは国際法が決める 例 権限踰越

国家のでない行為につき責任を負う? 「私人行為に関する」国家責任

参考 外交的保護 教科書 p. 358-

- ・ペルー人質事件
- ・テヘラン人質事件 判例集 p. 369
- ・トレイル熔鋳所事件 判例集 p. 418

特殊な責任?

「国家の国際犯罪」 普通の違法行為とは違う違法行為?

大反響を呼ぶが、結局消滅 現40条・41条「強行規範から生じる義務の違反」

適法行為に基づく責任?

違法性の証明が困難な活動の増大

適法行為責任を認める条約の類型 教科書 p. 389-

責任制度の限界 環境・人権で露呈

## 合法性維持のための手段

前提 中央機関の欠如

一方的手段

戦争

対抗措置 教科書 p. 334

概念 日常用語とのずれに注意

対抗措置の本来の役割は何か？

米仏航空業務協定事件 判例集 p. 382

要件

- ・「他国による国際的義務の違反が存在すると考える」
- ・武力行使による対抗措置は禁止
- ・比例性(均衡性)

問題点

制約の試み I L C

合意による手段

国連憲章33条 さまざまな形式 教科書 p. 405-

国際裁判

仲裁裁判と司法裁判との違い

司法裁判

例1 北海大陸棚事件 判例集 p. 160

例2 ノルウェー公債事件 判例集 p. 455

例3 核実験事件 判例集 p. 20

例4 テヘラン人質事件 判例集 p. 369

例5 ニカラグア事件 判例集 p. 501

例6 東ティモール事件 判例集 p. 451

例7 核兵器の合法性事件 判例集 p. 529

強制的な手段？

安保理

安保理の役割 平和と安全の維持

強制措置権限 第7章 強制的権利実現のためか？

湾岸戦争

旧ユーゴ・ルワンダ刑事裁判所の設置